

【2025年卒 就職活動TOPIC】 就職活動全体の費用は微増。コロナ禍前と比べると約3割減

就職活動全体にかかった費用は平均8万4,434円と、2024年卒より1,529円増加。

内訳を見ると、「交通費」などの項目で前年に比べ平均金額が増加

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追究するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、就職みらい研究所学生調査モニターの大学生・大学院生を対象に「就職プロセス調査」を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

「交通費」の全国平均金額は2024年卒に比べ増加したが、コロナ禍前の2020年卒と比べると約5割の水準



所長 栗田 貴祥

今回は、学生が就職活動に使用した金額についてレポートします。2025年卒学生が6月12日時点で就職活動に使用した金額は、平均して8万4,434円と、2024年卒から1,529円増加しました。使用した金額の内訳を見ると、「交通費」「公務員試験対策費」「スキルアップ費用」などの項目で、前年に比べて平均金額が増加しました。

説明会や選考に参加する形態の希望について聞いたところ、説明会では「オンラインでの実施を希望する」が37.9%、最終面接では「対面での実施を希望する」が48.9%で最も高い結果でした。また、実際の参加形態を見ると、説明会・一次面接では「オンラインのみ」と「どちらかというオンラインが多かった」の合計がいずれも7割を超え、最終面接では「対面のみ」が最も高く47.8%でした。学生の希望を捉え、企業は各プロセスにおいてオンライン・対面の使い分けを行っている様子が見え、**「交通費」**の全国の平均金額は前年に比べ増加しましたが、コロナ禍前の2020年卒と比べると約5割の水準です。今後も学生の負担が軽減され、少ない費用でより良いマッチングが実現できる就職・採用活動への発展を期待します。

就職活動全体にかかった平均金額の比較

大学生_全体（就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く（円）

	就職活動全体にかかった平均金額				差 (25年卒-24年卒)	
	2025年卒 (2024年6月12日時点)	2024年卒 (2023年6月12日時点)	2023年卒 (2022年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)		
全国	84,434	82,905	75,245	128,890	1,529	
地域別	北海道・東北	111,717	88,332	99,048	140,861	23,385
	関東	78,455	75,726	73,343	117,374	2,729
	中部	87,916	76,991	77,305	132,900	10,925
	近畿	86,073	87,297	71,891	131,201	-1,224
	中国・四国	80,692	115,165	59,195	139,967	-34,473
	九州	79,222	94,751	84,393	156,989	-15,529

※2025年卒の「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

「交通費」「公務員試験対策費」「スキルアップ費用」などで平均金額が前年に比べ増加

- 「交通費」「公務員試験対策費」「スキルアップ費用」などの項目で、2024年卒に比べ平均金額が増加した。
- 「交通費」の平均金額を地域別で見ると、「関東」「中部」で前年に比べいずれも約4,000円増加したが、コロナ禍前の2020年卒と比べると約5割の水準であった。

就職活動費用の内訳

大学生_全体（平均金額：就職志望者のうち各項目で「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く
 （使用率：就職志望者のうち就職活動に「1円」以上使用した学生/それぞれ単一回答）
 ※項目ごとの平均額のため、各項目の合計は「就職活動全体にかかった平均金額」とは一致しない

（平均金額：円 使用率：% 使用率の差：ポイント）

		交通費	被服費	宿泊費	飲食費	書籍費	公務員試験対策費	スキルアップ費用
n	2025年卒	708	604	111	423	353	61	152
	2024年卒	882	857	138	515	482	93	229
	2023年卒	949	857	141	493	626	123	257
	2020年卒(参考)	1,367	1,205	286	1,215	878	152	400
平均金額	2025年卒	24,510	32,950	19,850	6,982	4,745	140,582	26,567
	2024年卒	21,312	36,463	18,544	5,783	4,046	124,893	23,431
	2023年卒	17,555	33,500	13,810	5,423	4,737	136,896	22,732
	2020年卒(参考)	49,466	36,869	27,059	12,488	5,697	105,195	23,847
	25年卒-24年卒	3,198	-3,513	1,306	1,199	699	15,689	3,136
使用率	2025年卒	92.2	78.7	14.5	55.1	46.0	7.9	19.8
	2024年卒	90.1	87.5	14.1	52.6	49.2	9.5	23.4
	2023年卒	88.1	79.6	13.1	45.8	58.2	11.4	23.9
	2020年卒(参考)	98.2	86.6	20.5	87.3	63.1	10.9	28.7
	25年卒-24年卒	2.1	-8.8	0.4	2.5	-3.2	-1.6	-3.6

就職活動交通費の地域別平均金額

大学生_全体（平均金額：就職志望者のうち交通費で「1円」以上使用した学生/数値回答）※大学院生除く（円）

		就職活動交通費の平均金額				差 (25年卒-24年卒)
		2025年卒 (2024年6月12日時点)	2024年卒 (2023年6月12日時点)	2023年卒 (2022年6月12日時点)	2020年卒(参考) (2019年7月1日時点)	
全国		24,510	21,312	17,555	49,466	3,198
地域別	北海道・東北	32,932	27,708	29,036	68,624	5,224
	関東	18,629	14,719	13,696	37,157	3,910
	中部	25,319	21,116	18,399	49,593	4,203
	近畿	30,263	27,480	20,473	51,739	2,783
	中国・四国	31,703	28,457	19,660	70,990	3,246
	九州	26,666	32,968	15,979	79,383	-6,302

※2025年卒の「北海道・東北」「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

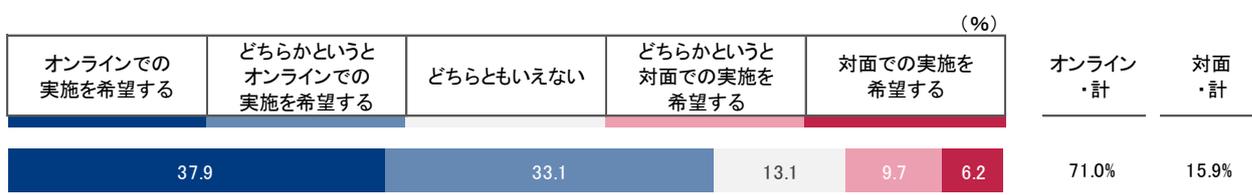
説明会ではオンラインでの参加希望が約4割、最終面接では対面での参加希望が約5割

- 各プロセスにおいて、参加する形態を選ぶことができる場合、オンラインと対面のどちらを希望するかを聞いたところ、説明会は「オンラインでの実施を希望する」が37.9%で最も高かった。
- 一次面接は「オンラインでの実施を希望する」と「どちらかというオンラインでの実施を希望する」の合計が72.0%であった。
- 最終面接は「対面での実施を希望する」が48.9%で最も高かった。

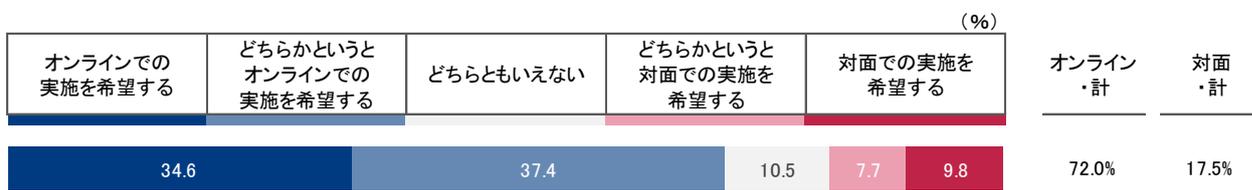
各プロセスの希望参加形態

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

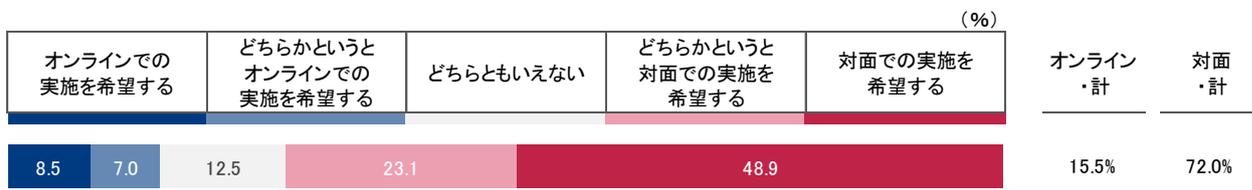
説明会



一次面接



最終面接



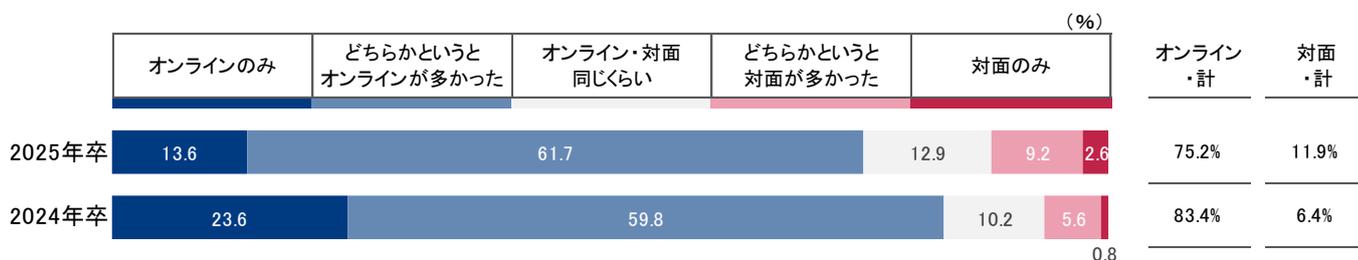
「オンラインのみ」での参加の割合は減少。最終面接では「対面のみ」の割合が増加

- 実際に経験した各プロセスの参加形態について聞いたところ、「オンラインのみ」の割合は2024年卒と比べ、いずれのプロセスでも減少した。
- 説明会と一次面接では「オンラインのみ」と「どちらかというオンラインが多かった」の合計が7割を超えた。
- 最終面接は「対面のみ」が47.8%で最も高く、前年と比べ増加した。

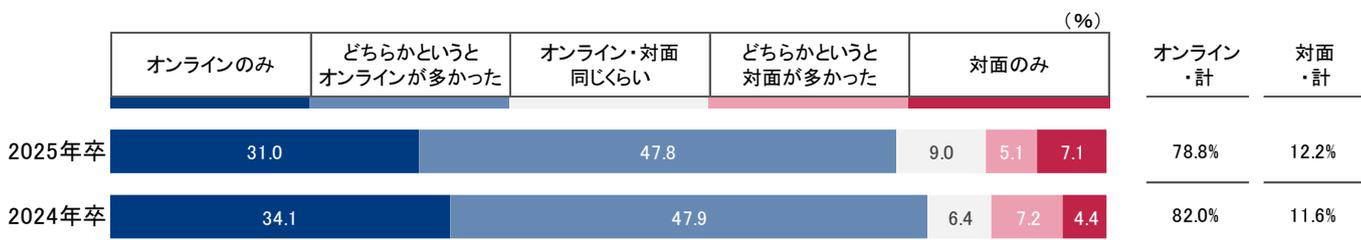
6月12日までに経験した参加形態

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

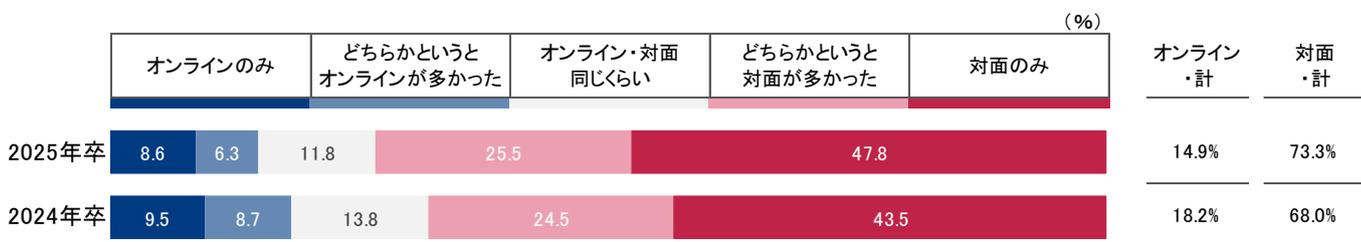
説明会



一次面接



最終面接



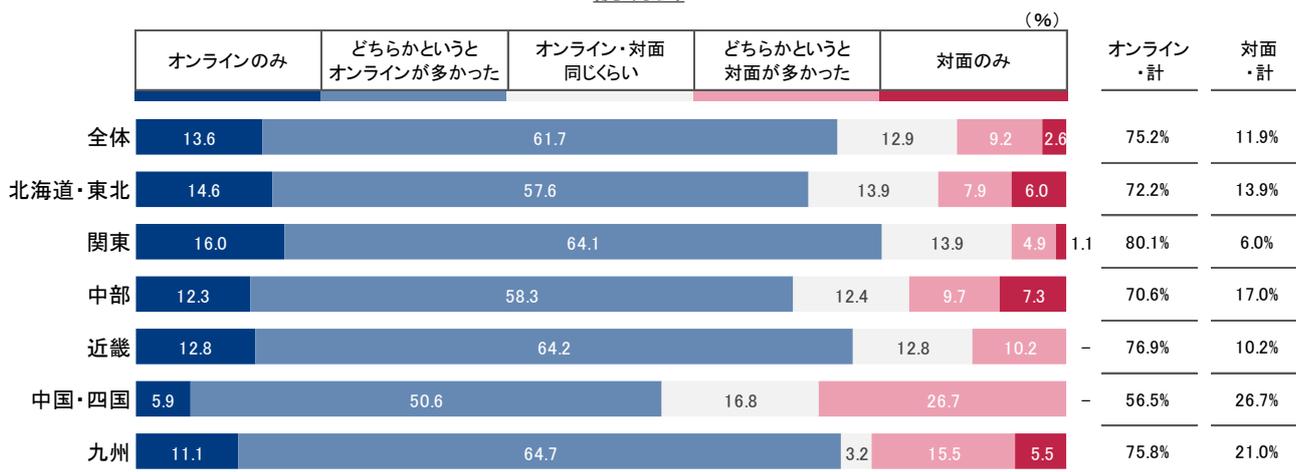
各プロセスのオンラインと対面の参加状況は、地域によって異なる

- 各プロセスの実際の参加形態について地域別に見ると、各プロセスごとにオンライン、対面の参加状況に違いが見られた。

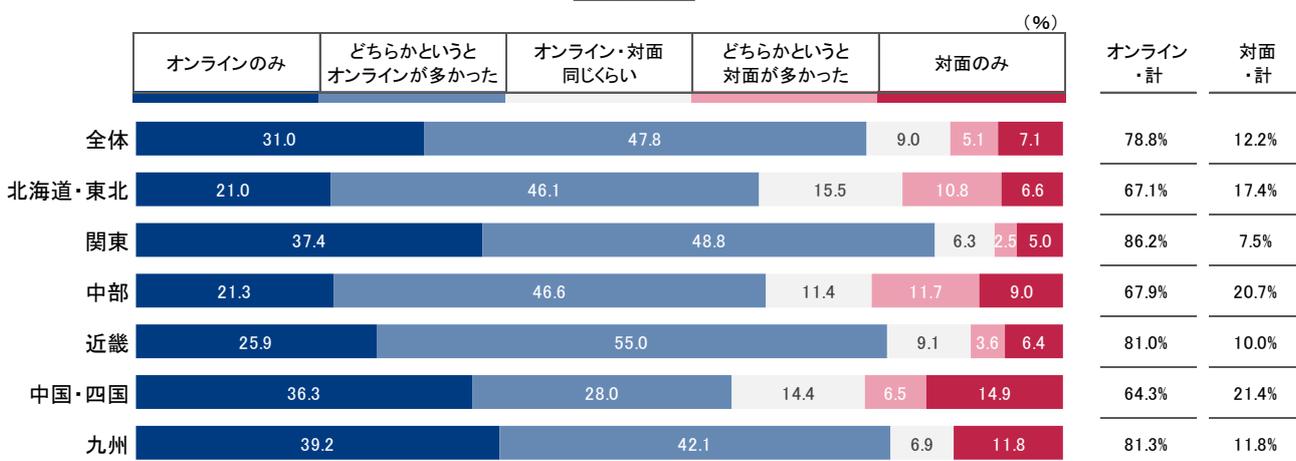
6月12日までに経験した参加形態（地域別）

大学生_全体（就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答）※大学院生除く

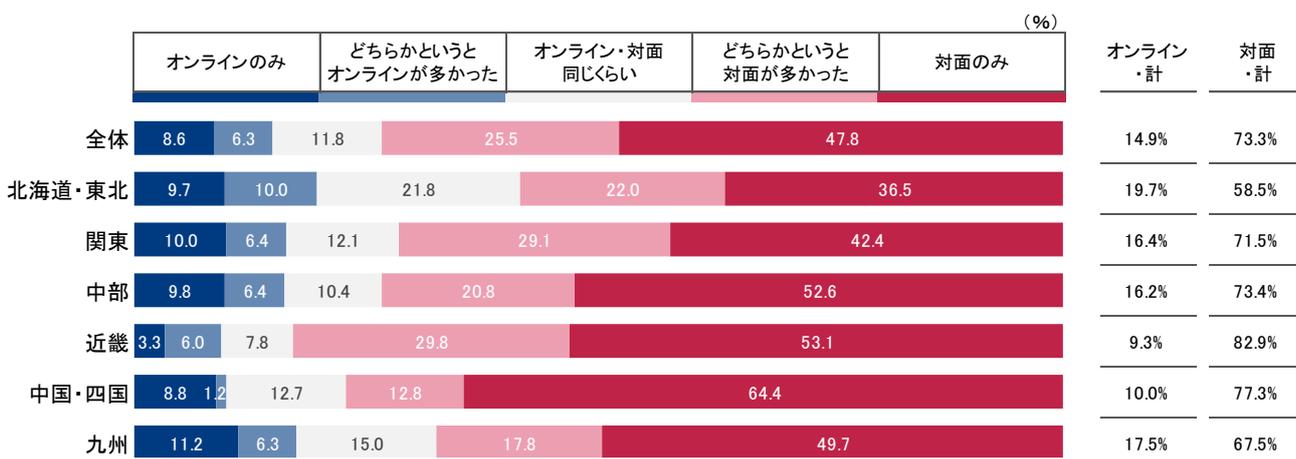
説明会



一次面接



最終面接

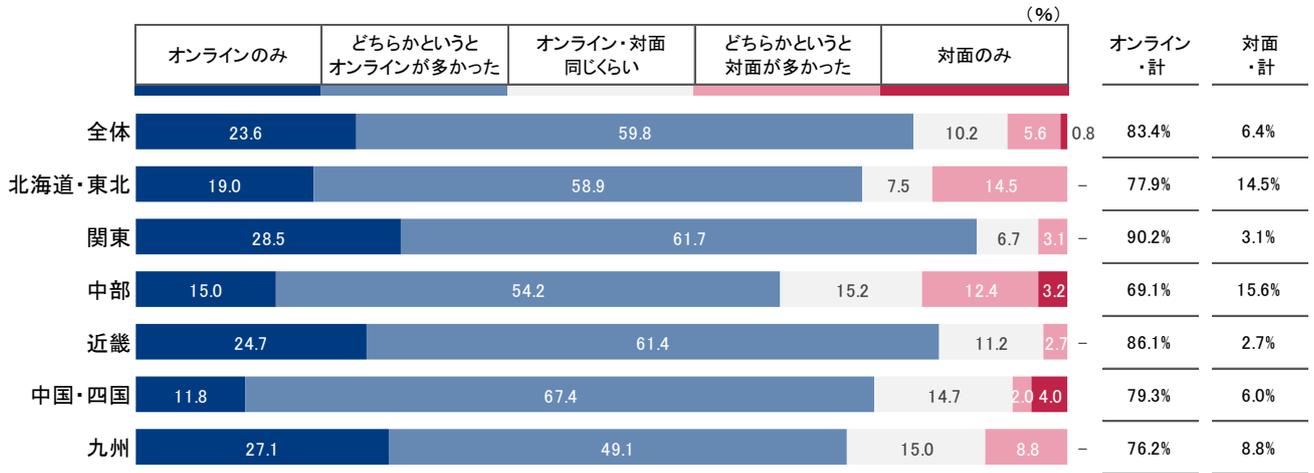


※「説明会」「一次面接」「最終面接」の「北海道・東北」「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

2023年6月12日までに経験した参加形態 (地域別・2024年卒)

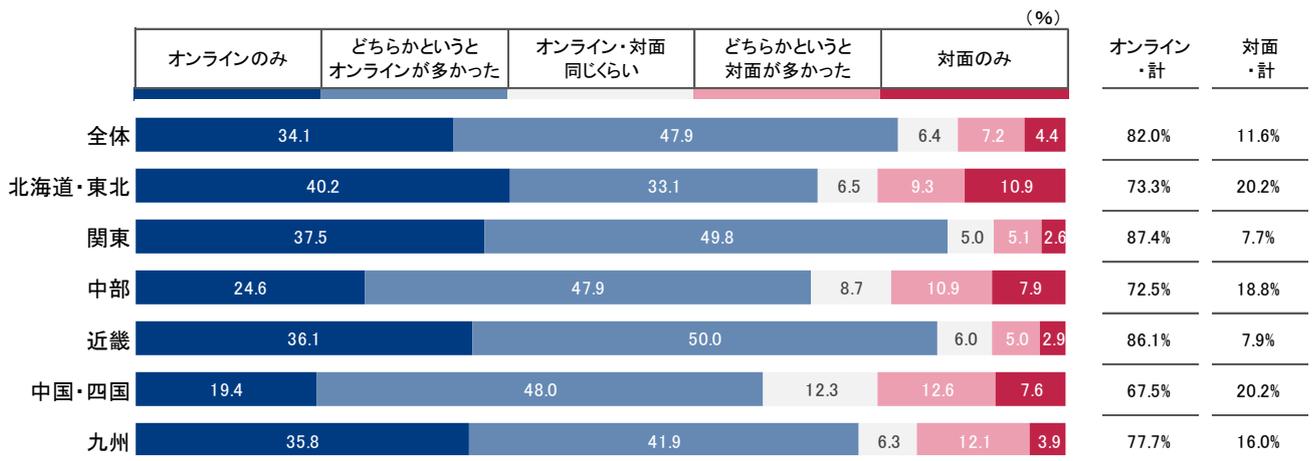
大学生_全体 (就職志望者かつ就職活動経験者・各活動経験者/単一回答) ※大学院生除く

説明会

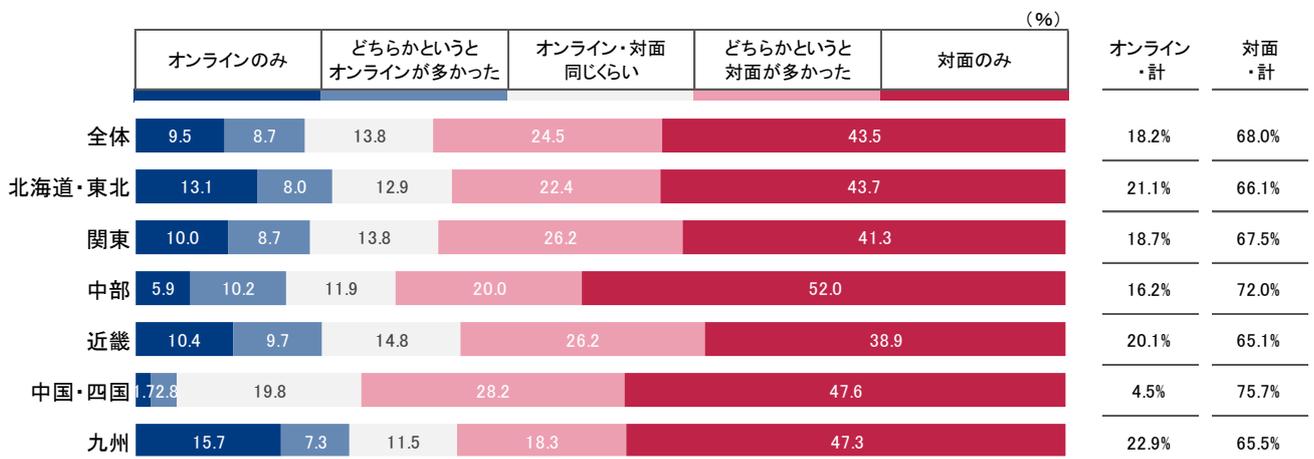


※「説明会」の「中国・四国」「九州」は集計対象数が50に満たないため、数値は参考値

一次面接



最終面接



前年・前々年に比べ、3月中～6月中の「就職活動」が占める割合は減少

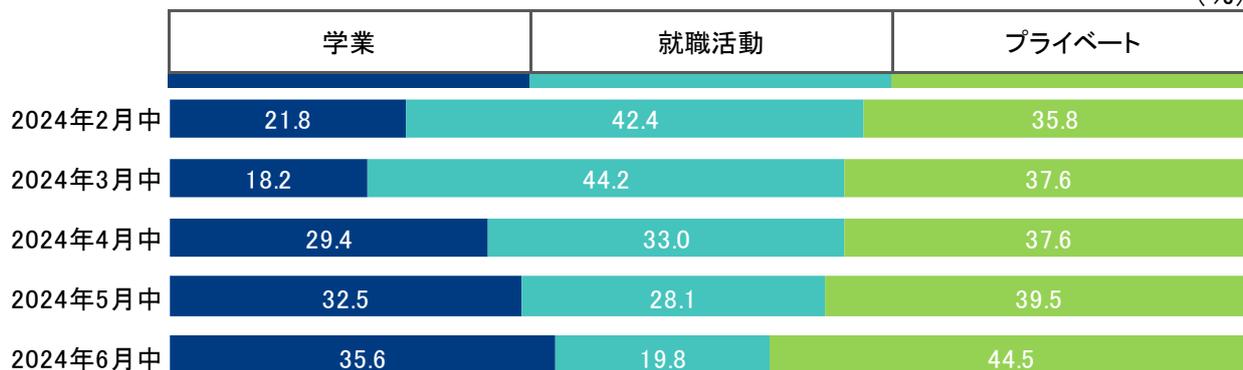
- 各月の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合を見ると、2025年卒においては、2024年卒・2023年卒と比べ、「3月中」「4月中」「5月中」「6月中」の「就職活動」が占める割合が減少した。

各月の「学業」「就職活動」「プライベート」時間の割合

大学生_全体（就職志望者/数値回答）※大学院生除く

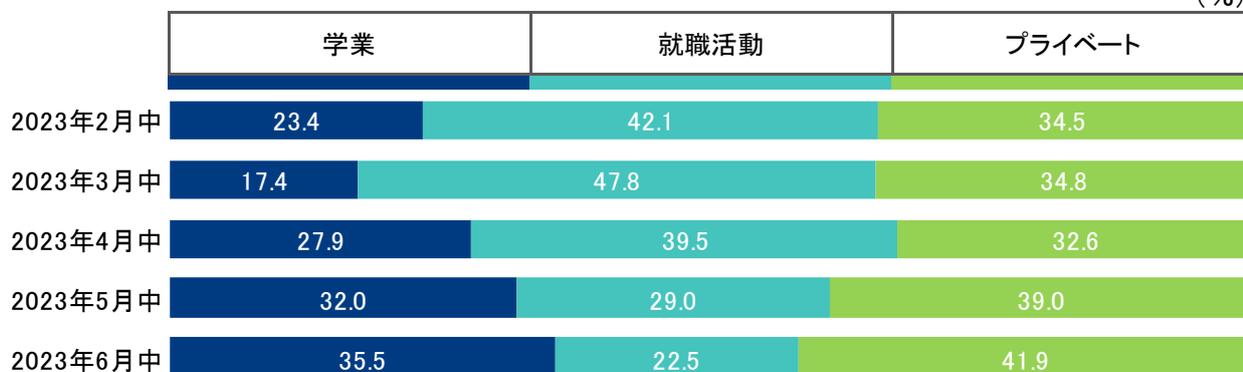
2025年卒

(%)



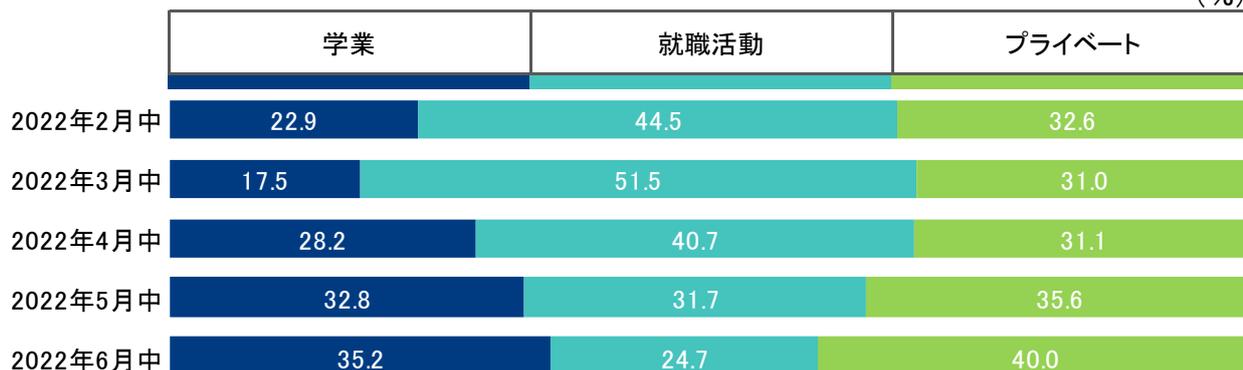
2024年卒

(%)



2023年卒

(%)



※各年の7月1日時点までの調査結果から算出

調査概要

調査目的 | 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する

調査方法 | インターネット調査

集計方法 | 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体を基に、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行っている

2025年卒：2024年6月12日時点

調査対象 | 2025年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2025』（※）にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生3,929人（内訳：大学生3,070人/大学院生859人）

調査期間 | 2024年6月12日～6月18日 集計対象 | 大学生 922人/大学院生 376人
※リクナビ：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト
<https://job.rikunabi.com/2025/>

2024年卒：2023年6月12日時点

調査対象 | 2024年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2024』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生4,567人（内訳：大学生3,574人/大学院生993人）

調査期間 | 2023年6月12日～6月19日 集計対象 | 大学生 1,165人/大学院生 437人

2023年卒：2022年6月12日時点

調査対象 | 2023年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2023』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生7,632人（内訳：大学生6,258人/大学院生1,374人）

調査期間 | 2022年6月12日～6月17日 集計対象 | 大学生 1,358人/大学院生 443人

2020年卒：2019年7月1日時点

調査対象 | 2020年卒業予定の大学生および大学院生に対して、『リクナビ2020』にて調査モニターを募集し、モニターに登録した学生6,395人（内訳：大学生5,267人/大学院生1,128人）

調査期間 | 2019年7月1日～7月8日 集計対象 | 大学生 1,584人/大学院生 503人

モニターの抽出条件

「卒業後の志望進路（志望する進路の全て）」の回答状況を基に、次の条件で対象を抽出

本調査対象 = 「就職意向者（就職志望者 + 志望進路未決定者）」（※モニター募集時）

本調査対象については、以下を除いた

- 就職志望者のうち「②公務員」「③教員」「④医師・歯科医師・看護師」のみ選択した者
- 就職以外「⑥起業」「⑦進学(国内)」「⑧進学(留学)」「⑨その他」のみ選択した者

調査結果を見る際の注意点

- 「内定率」は内定・内々定を含む。政府の要請における正式な内定日は10月1日以降である
- %を表示する際に小数第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある
- 「前回差」「前年同月差」の単位は、「ポイント」
- 本資料での「前年」とは、「2024年卒」を示す

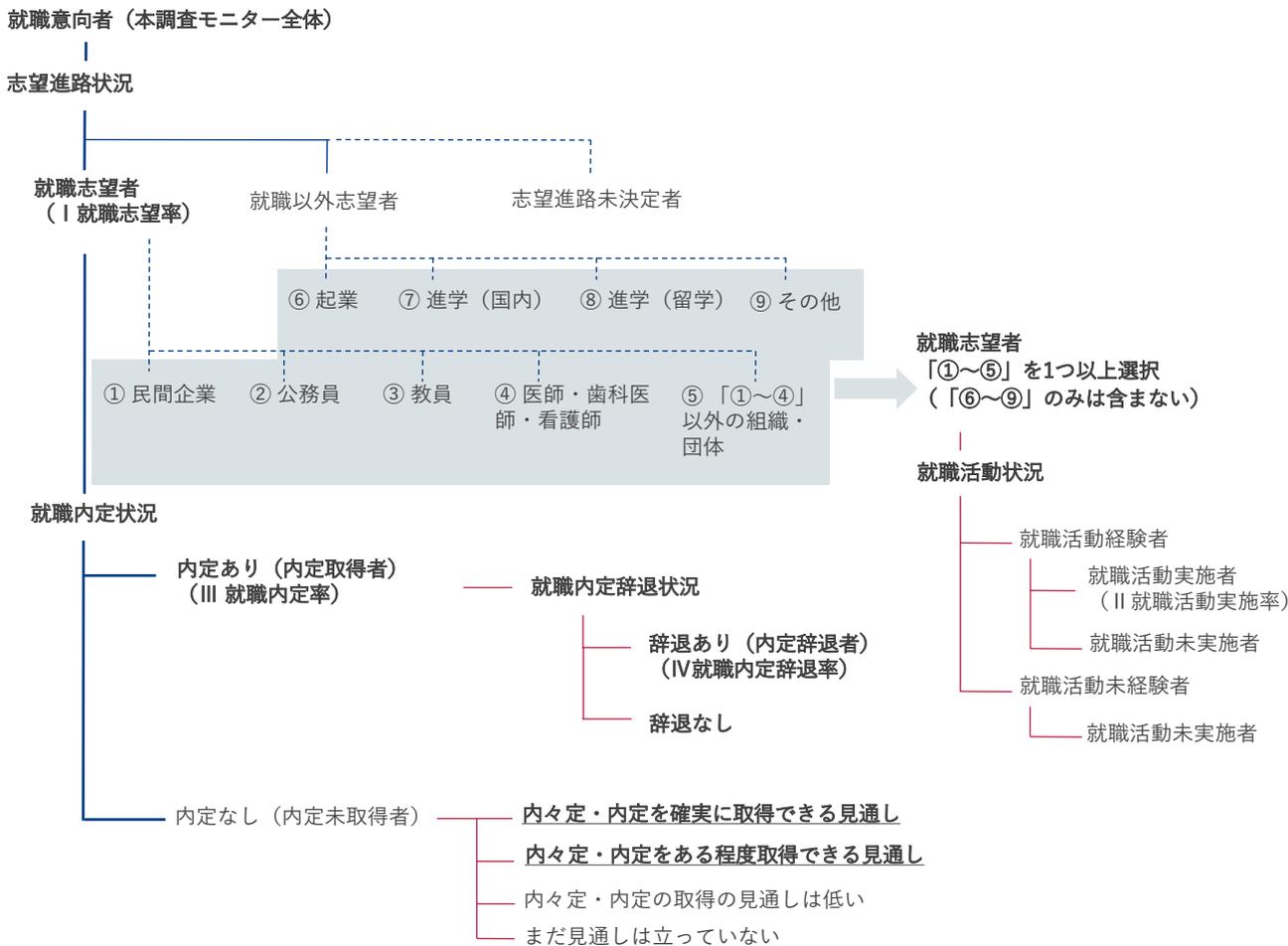
リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

就職志望者から見た内定状況の構図



<各率の算出方法>

I 就職志望率	=	就職志望人数 ÷ 就職意向人数
II 就職活動実施率	=	就職活動実施人数 ÷ 就職志望人数
III 就職内定率	=	就職内定取得人数 ÷ 就職志望人数
IV 就職内定辞退率	=	就職内定辞退人数 ÷ 就職内定取得人数

<用語の定義>

- 就職意向者 = 当初 (本調査モニター募集時) の志望進路が「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者 (※)
- 就職活動経験者 = 当月までに就職活動の経験がある者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定 (内々定) の取得経験がない者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者
進路確定率 = 進路確定人数 ÷ 就職意向人数
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定 (内々定) の辞退経験がある者

<地域区分の内訳>

- 北海道・東北 = 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 = 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部 = 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿 = 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- 中国・四国 = 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 = 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

※就職活動実施状況について、「している」「していない」の選択肢のうち、「している」と回答した者